

## 研究課題名：Rapid Response System(RRS) データレジストリーに

### 関する多施設合同研究

#### ・はじめに

当院では、院内に入院中の患者様の急変を未然に防ぐ目的で **Rapid Response System** というシステムを 2014 年 7 月から開始しました。これは、あらかじめ決められたバイタルサインの基準値になったら、それは急変の予兆の可能性があるので、集中治療部の医師に相談できるシステムです。この研究は、入院中の患者さんが急変した際に予期せぬ死亡につながるような臨床兆候について明らかにすることを目的とし、皆様の今後の治療にも役立つことができると考えています。

#### ・対象

下記期間に群馬大学医学部附属病院に入院されて、急変の前兆を認めて対応するために **Rapid Response System** を起動した患者さんのデータを使用いたします。

2014 年 7 月 1 日～2017 年 12 月 31 日

使用するデータは、急変の前兆となるようなバイタルサインデータや実際に行われた対応の種類やその後の管理についてです。

対象者となることを希望されない方は、入院の翌年の 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。2014 年に入院して、そのような急変する事態になった患者さんで対象者となることを希望されない患者さんは 2016 年 5 月 1 日までにご連絡ください。

#### ・研究内容

上記期間内に、入院中に急変の前兆を認め、院内の **Rapid Response System** 発動コール番号コールの対象となった患者さんに関して、その前兆となったバイタルサインデータ、呼ばれた医療スタッフの介入内容、患者さんのその後の状態についてデータを収集して解析する。バイタルサインとは、血圧、心拍数、経皮的動脈血酸素飽和度のことです。

#### ・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、群馬大学集中治療部においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策

を取り、第三者が個人情報を読覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

#### ・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2018 年 7 月 31 日まで

#### ・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は院内急変を未然に防いだり、院内心肺停止患者を減らしたりすることに繋がる可能性があり、病院内の安全管理に役に立つと考えています。

#### ・利益相反に関する事項について

この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

#### ・研究機関

群馬大学医学部附属病院集中治療部

部長 齋藤繁(研究責任者)

副部長 国元文生

講師 日野原宏

助教 戸部賢

助教 金本匡史

助教(病院) 神山治郎

研究総括

聖マリアンナ医科大学救急部

臨床教授 藤谷茂樹

連絡先：〒371—8511

群馬県前橋市昭和町三丁目 39-15

Tel : 027-220-8693 Fax : 027-220-8692

担当：戸部賢